

 <p>大分県要約筆記サークル</p>	<p>第69号 発行日 平成24年11月17日 発行所 大分県要約筆記サークル 「陽ざしの会」 発行者 森崎 裕香子 事務局 野上 千賀子 (Tel.097-532-6850)</p>
---	--

お互いの立場を思いやって  
「クワイエット」「クワイエット」  
「クワイエット」

## 要約筆記周知事業パネルディスカッション

### 学びの場の 「聞こえ」は 大丈夫？

～難聴児に対する  
情報保障～



平成24年8月26日、大分県要約筆記サークル「陽ざしの会」は、コンパルホールにおいて、3人のパネリストを招き、学校における難聴児に対する情報保障の現状と要約筆記者の活用について意見交換会を行った。当日は、県内の教員や地方行政官、難聴児の保護者、要約筆記者など多数の方々が参加された。

最初に野上千賀子氏（陽ざしの会）から、県内における難聴児童に対する支援についての報告があり「補助教員等の絶対数が圧倒的に不足している」との指摘があった。続いて、佐藤美紀古氏（県難聴障害児をもつ親の会会長）から、七人の生徒の事例に基づき「授業についての支援にバラツキがあり、また、音声伝達の多い学校生活における情報保障の必要性」が強調された。

小倉鉄郎氏（大分県難聴障害者協会事務局長）は、小学校時代の経験を振り返り「当時、特段の配慮はなかった。但し、小中学校時代は、人格の形成上一番重要な時期に当るので、情報保障については格段の配慮が必要である」と述べられた。依田広太郎氏（東京都駒沢中学校教員）からは、難聴学級における情報保障について、「聞こえの学級」の設立経緯、保護者・生徒による要約筆記ボランティア組織化とその活動状況、地区の要約筆記サークル「言の葉」による支援について説明があった。なお、東京都では、近年、有料ボランティアによる要約筆記支援が一つの流れとなっているとのことである。

終わりに、質疑応答が行われ、「大分県内でも、児童の学校生活における要約筆記による支援を関係先に働きかけていくことが必要である」との認識が参加者全員に共有され、散会となった。

望月 博



# 学びの場の聞こえは大丈夫？パネルディスカッションに参加して

## いつでもどこでも情報保障を受けられる社会の創設を！

パネラー 小倉 鉄郎さん（大分県難聴者協会事務局長）

今回、パネラーとして出席させていただきました。

2か月ほど前に、陽ざしの会の事務局から「難聴児としての経験を話すパネラーを探している。もし誰も見つからなかったら小倉さんをお願い」と言われていました。

内心、「早く良い人が見つければよいが…」と祈っていましたが、結局、私にお鉢が回ってきました。

さて、どんな話をするか…。自身の学童時代をあれこれ思い返してみるが、あまりにあけっぴろげな話をして引かれるのもまずいか。ディスカッションとして、それなりに問題提起ができる話でないといふと、ずいぶん苦慮しました。

もともとアドリブは苦手なので、事前に用意した原稿を話すだけの講演とは違って、その場で考えて意見を言わなくてはならないパネラーは大変です。まして聴覚障害者は情報保障を介して話を理解しなければならず、思考がワンテンポ遅れます。情報保障の文字から話の意図を正しく汲み取るのにも神経を使います。いつもなら「特にありません・・・」で済ませそうなところも、出血サービスで一言余計にお話させていただきました。

今後、聴覚障害者の福祉の発展のためは難聴児に関わらず、いつでもどこでも情報保障を受けられる社会の創設は大事なことです。このパネルディスカッションの開催は言うまでもなく、日ごろから要約筆記に関わる皆さんの意欲にはいつも感服しています。

個人的にも貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。



## 要約筆記事業を知ってもらうために、広く伝え続けたい！

パネラー 佐藤 美紀古さん（聴覚障害児をもつ親の会会長）

8月に行われましたパネルディスカッションで、親の立場から見た小学校の情報保障の現状と問題点についてお話しさせていただきました。また、駒沢中学校における情報保障について学びました。要約筆記が義務教育課程における児童生徒の大きな助けとなっている事に大変驚いたと同時に、要約筆記事業と学校との連携が素晴らしいと思いました。

要約筆記事業を幅広く知ってもらう為に、聴覚障害児を持つ親の皆さん方に広く伝え続けていきたいと思っております。



## 要約筆記という存在を学校現場の中に少しずつでも浸透させていきたい

柳井 洋子（陽ざしの会）

8月26日（日）、コンパルホールにて、“学びの聞こえは大丈夫～難聴児に対する情報保障～”と題したパネルディスカッションが行われました。日頃は例会にもご無沙汰の私ですが、今回は仕事と直接関することでもあり興味深く参加させていただきました。

まず始めに陽ざしの会事務局長の野上さんより、大分県内の聴覚障がいをもつ子どもたちの現状について、大分県教育委員会に出向いて聞き取りしたことの報告がありました。

次に、3人のパネラーよりそれぞれの立場からの話がありました。大分県難聴者協会事務局長の小倉鉄郎さんからは、聞こえなくなっていく生い立ちとその時の想いを、大分県聴覚障がい児をもつ親の会会長の佐藤美紀古さんからは、親の会に参加している子どもたちの学校での状況と願いについて、東京都世田谷区立駒沢中学校『聞こえの学級』担任の依田広太郎さんからは、校内に設置した保護者による要約筆記の話をお聞きすることができました。その後は、野上さんの名コーディネートの元、質問や意見が交わされ会場は大いに盛り上がりました。

私は難聴学級担任という立場から、依田さんの話に大変興味を持ちました。駒沢中学校では毎年保護者ボランティアを募り事前学習会をして週5時間の理科社会の授業にノートテイクを付けているそうです。その際の学習会の講師として地域の要約筆記サークルが指導しているとのことでした。私の担任している子どもたちは低学年ですが、学年が進んだ時にこのような体制が整っていればと思いました。

今回の会をきっかけに難聴者や親の会と連携をしながら学びの場での情報保障について更に考えたい、そして要約筆記という存在を学校現場の中に少しずつでも浸透させていきたいと感じました。私にできることは何か、重い課題をいただいた様な気がしています。

### 生徒が授業を楽しく感じ、やる気を起し、自分に自信が持てるように

間藤 勝美 (陽ざしの会)

今回のパネルディスカッションで興味深かったのは、世田谷中(東京都)での生徒の保護者による要約筆記ボランティア活動だった。毎年度初めに、保護者の中から要約筆記ボランティアを募集し、3回の研修(サークル主催)を受けた後、授業現場へ派遣される。生徒1人に要約筆記者1人のノートテイクである。その研修内容のカリキュラムはノートテイクが主で、手書き・PC両方ある。短期養成講座と言えるものだが、中学校での「授業」という特殊性が盛り込まれている。難しい漢字にはルビをふる、授業に直接関係ない教室内での話なども要約筆記する。生徒が寝ていてもそのままに。忘れ物などあれば本人に自己申告させる。授業時間外での出来事(いじめ、事故など)は一般的な対応をすると共にすぐに教員に連絡するなど。

また、我が子の学年には派遣されないようコーディネーターが派遣計画を策定したり、学校という特殊環境の為、セティングに時間をかけない、入出校管理、要約筆記記録簿の作成、要約用紙の学校保管なども、一般の要約筆記とは違った一面があった。

そして、何より大切なことは、授業の情報保障をすることによって、生徒が授業を楽しく感じ、やる気を起し、自分に自信が持てるようにしてあげることだという。単に要約筆記するだけではないところに特徴がある。最後に生徒の感想はというと、「これって、プロじゃん」「まあまあかなあ」と。(^^)

## ぶんどろ梅



「王会長と私?」

二重野真由美

TVをつけると、王監督(私)にとっては未だに)が、左手で、ガッツポーズをしていた。「プロ野球のドラフト会議」の様子だったのだ。東浜投手の交渉権を右手で引き当てたとか。声を小さくして言うとは私は阪神ファン。でも地元九州のソフトバンクも応援している。主力級の投手が抜けても3位。それに比べて……。

数年前の交流戦観戦の後、友達と二人で選手の待ち。すると、目の前を通った車がウインドウを下げながら止まった。「誰?」王さんでした。ていねいに一礼をして、ゆっくりの動き出す。「紳士!」ほんの数秒のできごとで、私たちは王さんの大ファンに。来季もがんばれ!

(ぶんどろ梅は創刊以来続いている会員のエッセーです。)



# 国際難聴者会議に参加して

## 野上千賀子

この催しに参加した大きな動機は、世界の要約筆記はどのようなものかという好奇心でした。日本から参加する難聴者は、要約筆記者を同行すると聞いていたので、他の国の人たちもきっとその国の要約筆記者を同行すると思いました。各国の人たちの集まりを覗いて、ノートテイクなどしているのを見てみたいと想像していました。



ところが、現実は大大きく異なりました。多数参加していたのは、デンマーク、フィンランド、ドイツ、アイルランド、日本、オランダ、ノルウェー、スウェーデン、スイス、イギリス、アメリカでした。全体で360人の参加でした。会場にはノルウェー語と英語の字幕があっただけで、他言語の字幕は日本人が同行した日本語字幕のみでした。会場で個人的にノートテイクや手話をしている様子もありませんでした。つまり、ほとんどの人は、英語の話を補聴器で聞か、英語字幕を読んでいたのです。

世界は英語が主流の言語になっていることを痛感しました。少人数の参加国もありましたが、みなさん英語を理解できる人が参加していたに違いありません。ドイツ人難聴者が、「会場では英語を読むしか仕方がない・・・」とレセプションでこぼしていました。

英語では「要約筆記」という言葉はありません。“speech to text service”「会話を文書にするサービス」とか、“transcribing”「転写」といいます。要約という言葉がないのです。でも、会議中の“transcribing”のプレゼンで、高齢者から、全文入力でなく、要約してほしいという意見もあったそうです。



日本語字幕

私は会議の間、当然のことながら、英語や日本語の字幕を読んでいましたが、これが疲れしました。難聴者がスクリーンを読み続けることのたいへんさが実感できました。英語でも要約してくれたら、ずいぶん読むのが楽だろうな、と思いました。英語で全文入力が主流になっているのは、全文入力が可能なゆえに、要約する技術が発展しようがなかったからではないか、と想像します。優れた要約であれば、情報を漏らすことなく、正確に効率よく伝えることができると思います。日本人の私たちはやっかいな言語の日本語であるからこそ、要約の技術を磨くことができるのではないか、と感じました。

(第9回国際難聴者会議はノルウェーのベルゲンで開催。次回はイスラエルのテルアビブの予定です。)

**ご報告**「10月に（公財）車両競技公営資金記念財団の助成金により  
 OHC1台、パソコン2台、プロジェクター2台を購入いたしました。  
 機種、金額等の詳細は、写真とともに次号に掲載いたします。」

平成元年要約筆記奉仕員養成講座日程表

**初級**

平成元年1月27日（土）

13：30～14：00 開講式・挨拶

大分県ろうあ協会 会長挨拶

大分県難聴者協会 代表挨拶

要約筆記サークル「陽ざしの会」 代表挨拶

講座日程説明 「陽ざしの会」 研修部

14：00～16：00

「要約筆記とは」 要約筆記者 中嶋 宏子

16：00～16：30

「難聴者のコミュニケーション」 難聴者協会

2月 3日（土）

13：30～14：00 開講式

実技 「陽ざしの会」 研修部

14：10～15：30 14：10～16：30

「聞き方・書き方とコミュニケーション」 県教育センター教諭

15：40～16：10

「聴覚障害者の福祉行政」 県障害福祉課

16：10～16：30

実技 「陽ざしの会」 研修部

2月10日（土）

13：30～14：30

「聞こえの仕組みと聴覚障害者」 県ろう学校 教諭

14：40～16：00

実技 「陽ざしの会」 研修部

16：10～16：30

閉講式 児玉 幸代

**中級**

2月24日（土）

13：30～14：00

要約筆記サークル「陽ざしの会」 代表挨拶

「要約筆記のための文章講座」 元大分合同新聞開発局長

3月 3日（土）

13：30～16：10

「要約筆記の技術と実技」 要約筆記者 中嶋 宏子

16：10～16：30

閉講式 児玉 幸代



「陽ざしの会のあゆみ」 ⑦

**養成講座の開催（その6）**

児玉 幸代

会の発足以来、サークル全員が試行錯誤を続けながらも、やっと上記の如く養成講座を実施する事ができました。殊に研修部各位の苦勞に私は感謝の念がいっぱいでした。

また、講師としてお願いした外部の方々  
 が快くお受け下さり、受講生もその内容  
 の深さを喜んで下さったこと。要約筆記  
 に関する実技は私たち研修部員が真剣  
 に取り組み、初級終了者十八名、中級修  
 了者十七名の二期生の誕生に喜び合っ  
 た事、今思うと夢のようです。

そのかげには、県障害福祉課の温かく大  
 きな力があつたのです。次回で詳しくお  
 知らせいたしましょう。

# 要約筆記の勉強部屋 Part II

## ～新人・筆子の覚書～

筆子の勉強部屋も2回目になりました。

今回は、遊びながら筆記の目を肥やす方法をご紹介します。

みなさんは、「ワードサーチ」というパズルをご存知ですか？

無秩序に並んだ平仮名の中から、縦横斜めに単語を探すゲームです。

このゲームをすることにより、並んだ文字列を色んな組み合わせで見える力がつきます。

直接、要約筆記が上達するわけではないですが、文字列を見る力により、泣き別れが“ギナタ読み”になってしまうという問題を回避します。



※ギナタ読みとは：文章の区切りを間違えて、違う意味になってしまうこと。  
「弁慶がなぎなたを振り回し」という文を「弁慶がな、ぎなたを振り回し」と読めてしまうことに由来する。（出典：Wikipedia）

簡単なパズルですので、是非、挑戦してください！（出典：統計ワードサーチ）

ツ	リ	ウ	ヨ	ギ	ツ	シ	オ	ジ	ツ
ア	ザ	ヨ	ホ	ナ	マ	イ	ン	コ	リ
ン	ウ	ギ	ン	シ	ケ	コ	ヨ	ウ	ク
キ	ヨ	ウ	レ	カ	ウ	レ	イ	カ	ヨ
フ	ギ	ヨ	フ	ピ	ル	フ	フ	ユ	リ
ナ	ウ	シ	ラ	テ	ブ	ン	ギ	デ	ウ
ス	コ	ミ	キ	ッ	ッ	イ	ー	ヨ	ド
リ	ッ	ア	カ	ケ	ノ	ウ	ギ	ヨ	ウ
ド	ブ	フ	ン	レ	ギ	ン	ラ	ジ	ロ
ン	サ	ウ	ヨ	チ	イ	セ	ク	コ	ヒ

ヨ	ケ	テ	ソ	チ	ン	ヒ	イ	サ	ス
ザ	ヒ	ヨ	ウ	ウ	ズ	ヨ	ス	セ	ウ
ア	ダ	プ	ト	キ	ミ	プ	ブ	ト	ユ
チ	セ	セ	サ	テ	ブ	ド	ン	セ	キ
ユ	ス	イ	ム	ザ	ン	ダ	ブ	サ	イ
ウ	メ	キ	ラ	セ	ヒ	イ	イ	ダ	カ
オ	ユ	ブ	グ	ス	テ	ヒ	ザ	キ	ン
ウ	ズ	ン	ト	イ	ダ	ヨ	ミ	ヨ	プ
チ	プ	プ	ス	ト	ソ	ウ	カ	ン	ユ
ズ	ウ	ケ	ヒ	ブ	ウ	チ	ザ	プ	チ

ヒント：国勢調査 人口ピラミッド  
労働力 物価  
デフレ インフレ  
家計 失業率  
農業 工業

ヒントの文字列が、縦・横・斜めに並んでいます。右から左方向や下から上に並んでいる場合もあります。

ヒント：階級 代表値  
最頻値  
散布図  
正規分布  
ヒストグラム  
中央値  
座標  
相関  
推定



もっと色んな問題を解いてみたい方は、こちらどうぞ！

「パズルランド」 <http://hattori.m78.com/puzzle/wsp/index.html>

### ＜イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン 中間報告＞

毎月11日のイオン・デーには、地域のボランティア団体などの名前と活動内容を書いた投函BOXをお店に置いてあります。レジ精算時に受け取られた黄色いレシートを「陽ざしの会」の投函BOXへ入れていただくと、お買い上げ金額合計の1%が希望する品物で寄贈されます。4～8月までのレシート集計結果は「28,700円」（陽ざしの会分）引でした。引き続き、会員の皆様のご協力をお願い致します。（青木）



## ☆要約力をつけるには ～ 7・8月 合同学習会☆

二月に渡っての合同学習会は“要約筆記技術を増やし、要約力を身に着ける”をテーマに行われました。

☆要約力(話を聞き、的確に表出する力) ☆要約筆記技術=省く・縮める・換える・補う \*話をよく聞く(書かない、入力しない選択)  
\*言葉の優先順位をつける(「つまり」「要するに」などの言葉を聞き逃さない) \*繰り返し練習、経験することなど…

自己学習や学習会への積極的な参加で、一つでも多くの要約筆記技術が身に付くよう頑張りましょう!(青木)



## 平成24年度 第1回登録要約筆記者研修会開催

8月19日(日)、10:00~15:00の日程で、今年度の登録要約筆記者研修会の1回目が開催されました。陽ざしの会メンバーを中心に20名程の参加があり、熱気のコもった研修会でした。今年度は、事前に研修会に向けての質問票をアンケートにとるなど、初めての試みもありました。

午前中は、“今後の要約筆記の方向と登録者試験について”の話があり、より専門性を高めた要約筆記者を養成するための取り組みが、ようやく形が見えてきたのでは、と感じられました。予算の問題や、実施主体の問題は残るものの、今年度の要約筆記者養成講座の取り組み予定がわかり安心しました。

また、全国統一要約筆記者認定試験の受験資格を得るため、要約筆記奉仕員に向けての補習予定もあるとのこと、大分県からも受験者が出るのではないかと考えられます。ただし、前年度の合格率(手書き29%、パソコン20%)を見ると、かなり高いハードルであることは確かです。

午後の事例検討では、知っておきたいケースに基づき、代表のグループがロールプレイをして対応にあたるなど、より実践にあわせた内容でした。実際にロールプレイをしてみると色々なパターンが出てきて、あれもこれもと、考えすぎてしまう場面があり、質疑応答もどんどんとヒートアップしてきました。

実際の派遣の流れと報告書の書き方事例や、事前アンケートの回答もあり、すぐに派遣に役立てる研修会でした。(山口)

大分地方裁判所の徳永薫子管理官を迎え、平成二十一年度から実施されている裁判員制度の裁判員について、その実施状況や刑事裁判手続の流れについての勉強会が9月1日に開かれました。テレビや新聞などで報道されているため、ある程度の知識は持ち合わせているが、実際の流れについて、知らなかったこともあり、いつ選任されるかもわからない、裁判員制度がより身近に感じられました。約3年間のうち、実際に聴覚障害者が裁判員に選任されたのは、10例に満たなく、中でも要約筆記の要請があったのは、2例ほどしかないとのこと。ただし、大分地方裁判所では、要約筆記に前向きに取り組もうという姿勢があり、こちらからの質問だけでなく、裁判所側からの質問も多くあり、今後の要請に向けて、どういった方法で要約筆記で情報保障を行うのか、検討すべき問題は山積みであると実感させられました。パソコンによる要約筆記を行う方向性はあるものの、機材の持込や設置、法廷と審議場所との移動の問題など、実際の要請があつてから決めるのでは遅いと感じられる部分もあり、より積極的にこちらから提案、検討をすべきなのではないでしょうか。 (山口)

全要研主催の  
裁判員制度についての勉強会に  
参加しました

## 第7回大分県障がい者スポーツ大会



6月10日(日)県障がい者スポーツ大会後半が開催された。私は事前に行われた開会式の前ロールの作成に参加。

来年も当日のボランティアとともに、多くの会員の参加をお願いします。(三重野)



## 秋の交流会・梨狩り

9月13日(木)由布市役所に集合。県難聴者協会の方、陽ざしの会会員、他の方々とグループに分かれ車で現地へ。山の上は涼しいかも…という期待に裏切られ、しかも、美味しいうな梨を求めてがんばったせいか汗びっしょり。



着いてすぐ試食でいただいた梨は甘くてジューシーで感激。初めての梨狩りを堪能した。帰宅後、家族と食べた梨も大好評！また、来年を楽しみに。

お世話をしてくださった日野さん、ありがとうございました。

### 活動計画 (3月は会員交流会)

予定	手書き	合同	パソコン
11月	表記、行間隔、字数など		パソコン設定他
12月	ノートテイク		模擬大会
1月	落語、劇、詩を書く		未定
2月	派遣に向けた実践練習	○	同左

陽ざしの会 HPに活動報告、

広報紙PDF他掲載されています。検索してください。



### 編集後記

読書の秋ということで、現在、読んでいる本をご紹介します。内館牧子さん著の「十二単衣を着た悪魔」源氏物語異聞。ちょっと違う角度からの源氏物語。主人公と共に平安時代にワープ中。(三重野)

